



Vol.208

令和7年1月号

とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

新年のごあいさつ



新年おめでとうございます。会員の皆様には、新たなお気持ちで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、当協会は“売れるものづくりを支援する”“生産者と消費者の信頼関係を築く”“すぐれた県産農産物を広く紹介し販路拡大に努める”との基本方針のもと、生産者や関係機関団体の皆様と連携し、産地づくりや農産物のPR、輸出支援など、生産から流通・販売・消費までの対策を総合的に推進しています。

昨年を振り返りますと、収まらない資材等の高騰や猛暑、そして令和の米騒動など、生産者・消費者とも苦難の年となりましたが、当協会といたしましては、生産部会とともに、生産拡大が進む「とちあいか」による『第15回いちご王国グランプリ』の開催や18年ぶりの当県開催となった『第64回全国ナシ研究大会栃木県大会』などに対応するとともに、当協会が商標権を持つ「とちぎ和牛」や県産米の消費拡大に向け、国の和牛肉需要拡大緊急対策も活用したキャンペーン等の開催、また有識者を交えた「とちぎの星」の販売力向上の取組等を実施いたしました。「とちぎの星」については雑誌“Discover Japan”12月号の2024年度に食べておきたい銘柄米に選ばれ掲載されるという思わぬ喜びもありました。

現在、県外で開催する県産農産物を使用したメニューフェアやホテルでの『いちごフェア』の準備を進めているところです。

当協会は生産と消費を近づける重要な機能を有しており、生産者と実需者、消費者との関係づくりの強化に向け、シェフ等を対象とした「産地視察」や「食材提案会」等の開催、消費者向けの情報発信サイト「とちぎ農産物♥クチコミ」の充実等にも取り組むことで、更なるネットワークを構築し、県産農産物の利用・消費拡大に繋げて参ります。

今後とも、国や県の施策に対応しながら、農業団体の皆様方と連携し、当協会の培ったノウハウを最大限活かし、県産農産物の生産振興とブランド向上を図って参りますので、より一層のご理解、ご支援をお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様にとりまして実り多き素晴らしい年となりますよう心から祈念申し上げ年頭のごあいさつといたします。

代表理事会長 国府田厚志

IFBB世界女子選手権大会&男子ワールドカップ 県産米「とちぎの星」PR

12月17日(火)~19日(木)、有明コロシアムで、38年ぶりに「IFBB世界女子選手権大会&男子ワールドカップ」が開催されました。

アンチドーピング、お米を食べて身体作りをテーマに、農林水産省の米消費拡大の取組として、五ツ星お米マイスター・オニギリアンバサダー・雑穀ソムリエとしてご活躍の山下食糧(株) RICE MEISTER SHOP YAMASHITA 山下氏が会場内物販ブースで7種類のおにぎりを販売しました。



そのうち3種類に、なんと！県産米「とちぎの星」がブレンドされ、パリッとモチっとした大粒の食感を楽しめる逸品でした。

外国の方も含め、大会出場者や関係者に好評で、「とちぎの星」の認知度向上及びイメージアップが図れました。



第41回栃木県肉用牛総合共進会《種牛の部》を開催

12月11日(水)、当協会は、産肉能力向上と、種牛としての外貌表現の改善を行い齊一性を更に高めることを目指して、全農栃木県本部矢板家畜市場において「第41回栃木県肉用牛総合共進会 種牛の部」を開催し、全体で45頭の出品がありました。

今回の共進会は令和9年8月開催予定の「第13回全国和牛能力共進会 北海道大会」に向けた勉強会も兼ねていて、将来を担う高校生の区も新たに設けました。

名誉賞(最優秀賞)にはJAなすの古谷光弘氏が輝きました。各賞の受賞者は以下のとおりです。



「最優秀賞」(名誉賞・農林水産大臣賞ほか)

【3区】古谷 光弘 様(那須塩原市 JAなすの)

「最優秀賞」

【2区】前田 公一 様(那須塩原市 JAなすの)

【4区】白井 通 様(那須塩原市 JAなすの)

「優秀賞1席」

【2区】大平 博和 様(那須町 JAなすの)

【3区】菊地 勝 様(那須町 JAなすの)

【4区】大宮 六則 様(大田原市 JAなすの)

「優秀賞2席」

【2区】木澤 裕明 様(那須塩原市 JAなすの)

【3区】飯沼 理伯 様(那須塩原市 JAなすの)

「優良賞1席」

【2区】豊田 勝保 様(那須塩原市 JAなすの)

【3区】大森 政宏 様(那須町 JAなすの)

【4区】齊藤 正吉 様(那須塩原市 JAなすの)

「優良賞2席」

【2区】室井 市郎 様(那須塩原市 JAなすの)

【3区】人見 達夫 様(那須塩原市 JAなすの)

「栃木県知事特別賞」

【高校生の区】那須拓陽高校 様(那須塩原市)

「栃木県知事特別賞」

有限会社ウエルシーファーム 様
(那須町 JAなすの)



果樹部会 なし部会長会議を開催

12月13日(金)、JAビルにおいて、各地域のなし部会長及びJA担当者、JA全農とちぎ、県担当者など20名が出席し、「なし部会長会議」を開催しました。

会議では、JA全農とちぎから本年産のなしの販売状況、県から本年の生産状況及び次年度に向けた対策等に関してそれぞれ説明をいただくとともに、各産地の現状・課題等について意見交換を実施しました。

加えて、今年度実施した「全国ナシ研究大会栃木県大会」や「にっこり大玉コンテスト及び受賞品の展示PRイベント」の開催結果報告などを行いました。



展示PRイベント(宇都宮市内)

県産スプレーマムを県庁ロビーに展示

12月4日(水)～13日(金)の10日間、当協会花き部会スプレーマム研究会は、栃木県本庁舎1Fロビーにおいて、県内で栽培されたスプレーマムの飾花展示を行いました。

花の色・形・咲き方・大きさも様々なスプレーマム(約50品種、800本)を使い、ロビーを『スプレーマムで創るおしゃれな飾花空間』にしました。

昨年度は、少量のバラとユリも加えましたが、今回は数品種のディスバット※を使い、スプレーマムのみの飾花に挑戦しました。スプレーマムがもつ凛とした美しさと可愛らしさに加え、多種多様さや華やかさを沢山の来庁者へ伝えることができました。

栃木県はスプレーマム(スプレーギク)の出荷量全国4位と生産が盛んです。今回の展示では、県内産地(塩谷・芳賀真岡・鹿沼・那須の4地区)の生産者のメッセージも添えました。県産スプレーマムを日常的に取り入れ、自分好みのアレンジを楽しんでみてはいかがでしょうか。

(※脇芽を取り除いて一輪の花に栄養を集中させることで、大きく豪華に仕立てた菊のこと)



とちぎの花でスマイルアップ in NHK (12月分)

◇ NHK総合テレビ 毎週金曜日 「とちぎ630」(18:30～)

12月は、2色の覆輪八重咲きやピンクのフリンジ咲き等、様々な花色と花形で家庭内を温かく彩るシクラメン、色水を吸わせ葉をカラフルに染めた切り花のハボタン、小山北桜高校生が「宝箱」をテーマに、ガーベラ・バラ等を使って可愛く華やかに仕上げたフラワーアレンジメント、3品目の花を紹介しました。



12/6 シクラメン
鈴木篤則氏、将典氏
(大田原市)



12/13 ハボタン
木村一喜氏
(高根沢町)



12/20 アレンジメント
五月女 結子さん
(小山北桜高校)



令和7年1月の県産花きの紹介は、以下のとおりです。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1/10(金) 洋蘭 | 河内地区 |
| 17(金) クリスマスローズ | 那須地区 |
| 24(金) アレンジメント | 宇都宮白楊高等学校 |
| 31(金) プリムラ | 芳賀地区 |

花のイベントのご案内

1月は、FKD宇都宮店で「とちぎ蘭展」(1/8～15)、東京池袋サンシャインシティで「関東東海花の展覧会」(1/31～2/2)、2月には、栃木県庁で「栃木県花の展覧会」(2/20～22)が開催されます。

2/22(土)開催の「花と苺のフェスティバル」は県産の花々が栃木県庁を彩るほか、花といちごの販売やステージイベント、体験教室など、楽しい催しが盛りだくさん!ぜひ家族や友人と出かけてみてください!

情熱的な赤に魅せられる優雅なティータイムを

苺のアフタヌーンティー ～赤とバラ～



イメージ

当協会は、県産農産物のイメージアップ及び消費拡大を図るため、リーガロイヤルホテル東京「ガーデンラウンジ」において開催中の、栃木県産のいちご『とちあいか』をふんだんに使用した「苺のアフタヌーンティー」を支援しています。

期間は2025年1月～5月の5ヶ月間で、前・後半に分け、異なる2つのテーマで開催しています。

前半の1月6日(月)～3月16日(日)のテーマは「赤とバラ」。真紅のバラで装飾された「苺のアフタヌーンティー～赤とバラ～」を用意しています。いちごはすべて、県産の『とちあいか』を使用し、“シュークリーム”や“タルトショコラ”、“ブランマンジェ”をはじめ、軽食やスコーンでも存分にいちごをお楽しみいただけます。

通常は「本日の苺」として『とちあいか』を素材のまま提供していますが、“いちご王国・栃木の日”1月15日(水)と“とちぎのいちごの日”1月25日(土)の2日間限定で、赤い果肉が特徴の『とちひめ』と、大粒で艶やかな『スカイベリー』、まろやかな甘さの白いちご『ミルクベリー』を提供します。

ぜひこの機会に、栃木県の美味しい農産物で、優雅で華やかなひとときをお楽しみください。



シンガポール栃木県農畜産物プロモーション

11月27日(水)、当協会は、シンガポールにて県産農畜産物の輸出拡大を目的とした牛肉及び農産物のプロモーションイベント(JA全農とちぎ主催)を支援しました。

現地輸入者、レストラン関係者へ試食PRなどにより、県産農畜産物の認知度向上等が図られました。

提供したメニューには、とちぎ和牛、とちあいか、にっごりの外、とちぎの星、トマト、ニラ、白美人葱、ほうれん草、しゅんぎくなどが使用され、大変好評でした。



「とちぎ和牛」のにぎり



「とちあいか」と「にっごり」

1月の予定

- 8日(水)～13日(日) 花き部会洋蘭生産組合 とちぎ蘭展 (市内)
- 15日(水) 花き部会鉢物研究会役員会 (市内)
- 17日(金) スマートなし園セミナー & 事例発表会(なし研究部研修会) (JAビル)
- 23日(木) スーパーコーチ派遣事業 いちご (県内)
- 特産部会こんにゃく専門部役員会 (JAビル)
- 24日(金) スーパーコーチ派遣事業 トマト・バラ (県内)
- 31日(金) スーパーコーチ派遣事業 集合研修 (県内)